

アカザ

Liobagrus reini

ナマズ目 アカザ科

カテゴリー

大分県 Ⅱ

環境庁 Ⅱ



魚類

日本固有種。全長約10cmで、一見ドジョウのようにみえるがナマズの仲間。水の澄んだ河川の上流域から中流域の転石帯に生息する。夜行性で日中は浮き石のすき間に潜み、夜間に行動して水生昆虫を捕食する。体色は赤褐色で、背びれと胸びれに棘とげがあり刺されると痛いことから、アカバチ、アカギユウギユウなどの地方名がある。産卵期は5月ごろ。雄は頭部の肉が盛り上がる。河川工事による流出した土砂などで産卵場所や生息地が埋まり、個体数の減少が危惧される。

(写真・文：星野和夫)

県内分布 山国川，駅館川，桂川，安岐川，大分川，筑後川各水系の本流及び支流
分布域 宮城県・秋田県以南の本州，四国，淡路島，九州